

中学生の「税についての作文」

大川三猪法人会 会長賞

税について私が考えたこと

大川市立大川桐薫中学校

二年 宮原詩月

もしも、「税金」が無くなったら、日本はどうなるでしょうか。私は税金の無い世界を想像してみることになりました。

まず、私が登下校で通る道路や橋。道路や橋は時間が経つにつれて、ぼろぼろになって壊れたりします。しかし、修理をするお金が無いので、道路や橋は壊れたままです。次に、私達が学校で使う教科書やパソコンはどうでしょう。中学校三年間分の十教科の教科書の値段を調べてみると約一万四千円でした。それを家族が払わなくてはいけません。パソコンを一台買うのにもたくさんのお金が必要です。教科書やパソコンだけでは無く、教育費も全て家族などで負担しなくてはなりません。それに、私達を日々支えてくださっている公務員の方々の給料も無くなり、生活が成り立たなくなってしまう。つまり、消防や警察、教育、医療、介護などの公共サービスの運営が難しくなるというわけです。そうなる、急に体の調子が悪くなり倒れたらどうしたらいいのでしょうか。家が火事になっても消防車は呼べないのでしょいか。困ったことが起きたり、身近で犯罪が起こったりしたら、誰に相談し、助けてもらえばいいのでしょうか。ごみ収集も同じで

す。収集されず放置され、ごみだらけの町になるでしょう。

それでは、私の想像したように廃墟のような町に、市に、日本になるのでしょうか。もちろん、ひとつひとつにお金を払えば公共サービスをしてもらえる会社や施設があるかもしれませんが、その都度、お金を払うことは大変だと思います。やはり、税金は必要だと思い、税金について調べてみました。

現在、日本には約五十種類の税金があるそうです。私達にとつて身近な消費税は今、十パーセントです。私は十パーセントの消費税は高いなあと思っていました。家族も「この値段なら買おう。」と決めてレジに持っていくと税が加えられ「高いなあ。」と思ったそうです。

でも、その十パーセントの税金は年金、医療や介護の社会保障給付、少子化に対処するための経費などに役立てられていると知り、決して無駄なものではないと感じました。

私の通う大川桐薫中学校は去年新しく建てられ、私はきれいな環境で学習できています。以前はエアコンも無かったそうです。今の快適な学校は税金で建てられています。また、毎日通る通学路も昔は細くてがたがたの砂利道で信号機も無かったのですが、今は広くきれいに舗装され、信号機もできて安全になりました。それも税金のおかげです。

今、私に直接関わりのある税は消費税だけだけど、税金の意義や使い道を正しく理解して将来、国民の義務である納税をきちんとしたいです。納税はみんなが互いに支え合って、共によりよい社会を作っていくために必要なことだと思います。今回、税についての作文を書いて、改めて税の大切さを実感しました。